



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/corporate>  
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）橋本 舜  
問合せ先責任者 （役職名）VP of Corporate （氏名）伊達 佑騎 TEL 03 (6416) 8905  
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	7,579	△6.5	△477	—	△483	—	△506	—
2024年2月期中間期	8,110	76.9	△126	—	△126	—	△130	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	△9.68	—
2024年2月期中間期	△2.59	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	3,916	393	10.0
2024年2月期	3,276	842	25.7

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 392百万円 2024年2月期 842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,728	5.7	51	—	31	—	0	—	0.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	53,914,400株	2024年2月期	53,292,900株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	1,358,000株	2024年2月期	1,358,000株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	52,315,808株	2024年2月期中間期	50,246,740株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年10月15日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間貸借対照表 .....	5
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、“栄養のインフラ”としてのBASE FOODを目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注）の主食を中心としたBASE FOODシリーズの開発および改善を行い、それらを主に3つのチャンネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売を行っており、積極的な研究開発活動を通じて美味しい商品の追求、新商品のリリースを行うことで顧客層の拡大、継続率の向上を通じ成長を遂げてまいります。

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症収束による社会経済活動の制限の緩和や、賃上げによる個人消費の回復に対する期待など、景気回復の兆しがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の問題による原材料の高騰や世界的な金融引き締めによる急激な為替の変動などの影響もあり、依然として経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社は新商品開発および商品リニューアルの積極的な展開や、食の安全安心の取り組み強化により、企業価値の向上に努めてまいりました。

新商品開発の成果として、BASE BREADシリーズからは3種類、BASE FOOD Deliシリーズからは4種類、また新しいカテゴリとしてBASE Pancake Mixの販売を開始いたしました。またリニューアルの成果としては、BASE BREADシリーズからは2種類、BASE Cookiesシリーズからは1種類を改良し、商品のおいしさ向上を実現いたしました。

このような取り組みにより、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のラインナップおよびクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

食の安全安心の取り組みとしては、2024年6月製造分よりBASE BREAD全シリーズの生地を、静菌性が向上したものにリニューアルいたしました。従来より当社商品の生地は一定の静菌効果を有する設計になっているものの、今回の改良により一定以上の菌の付着や包装の破損が仮に生じた場合にも、菌の増殖をより抑制できるようになりました。また静菌性だけでなく、生地の食感と風味も同時に改善しております。

全体としては、上述した新商品およびリニューアルによる商品力の強化、またそれらを柱とした販促の強化により、一部商品の自主回収の公表（2023年10月）以降の業績下降傾向から脱却し、成長軌道に回帰いたしました。

自社ECにおいては、商品力と販促を強化した結果、サブスクリプション会員数は堅調に推移いたしました。また購買単価および解約率も各四半期毎に改善し、LTVは過去最高を記録する等、ブランド力の強さが示された半期となりました。また8月に実施した商品値上げによるマイナス影響も軽微に収まり、値上げ後も良好な事業成長が確認されております。その結果、自社EC売上高は4,789,341千円となりました。なお、サブスクリプション会員数の推移は以下のとおりとなっております。

	2024年 2月期 第1四半期	2024年 2月期 第2四半期	2024年 2月期 第3四半期	2024年 2月期 第4四半期	2025年 2月期 第1四半期	2025年 2月期 第2四半期
サブスクリプション 会員数の推移（万人） （注）	20.1	20.4	20.0	20.6	21.7	22.4

（注）各四半期末時点

卸販売においては、商品導入タイミングにより月毎の変動はあるものの、主要コンビニチェーンにて高い配荷率を維持しました。店舗あたり売上高は新商品および商品リニューアルに加えて、8月に商品値上げ効果により、堅調に推移いたしました。その結果、卸販売売上高は2,231,931千円となりました。

なお、展開店舗数および店舗あたり売上高の推移は以下のとおりとなっております。

	2024年 2月期 第1四半期	2024年 2月期 第2四半期	2024年 2月期 第3四半期	2024年 2月期 第4四半期	2025年 2月期 第1四半期	2025年 2月期 第2四半期
展開店舗数の推移（店舗） （注）1	46,385	49,044	53,406	51,091	50,808	50,530
店舗あたり売上高（注）2	8,800	9,500	6,900	5,950	6,950	7,630

（注）1. 各四半期末時点

（注）2. 当該四半期の平均。1店舗あたりの月間売上 = リテールチャネル（卸販売）全体の月間売上/展開店舗数

他社ECにおいては、倉庫の移転対応を優先し、大型商戦の出荷を制限した結果、売上高は449,635千円となりました。

海外事業においては、香港のセブン-イレブンでの販売開始が決定する等、順調に推移し、海外事業全体の売上高は99,244千円となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は7,579,531千円（前年同期比6.5%減）、営業損失は477,316千円（前年同期の営業損失は126,315千円）、経常損失は483,500千円（前年同期の経常損失は126,684千円）、中間純損失は506,531千円（前年同期の中間純損失は130,006千円）となりました。

なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

（注）1食（BASE PASTAは1袋、BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE FOOD Deliは1袋）で、栄養素等表示基準値に基づき、他の食事で過剰摂取が懸念される脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウムを除いて、すべての栄養素で1日分の基準値の1/3以上を含む

## （2）当中間期の財政状態の概況

### （資産）

当中間会計期間末における総資産は3,916,495千円となり、前事業年度末に比べ639,730千円増加いたしました。これは主に、運転資金を目的とした借入に伴い現金及び預金が388,575千円増加したことに加え、事業拡大に伴い売掛金が83,197千円、前払費用が76,648千円増加したことによるものであります。

### （負債）

当中間会計期間末における負債は3,523,326千円となり、前事業年度末に比べ1,089,023千円増加いたしました。これは主に、運転資金を目的とした借入に伴い短期借入金が400,000千円増加したことに加え、長期借入金が319,456千円、1年内返済予定の長期借入金が166,656千円増加したことによるものであります。

### （純資産）

当中間会計期間末における純資産は393,168千円となり、前事業年度末に比べ449,293千円減少いたしました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が28,659千円、資本準備金が28,612千円増加した一方で、中間純損失の計上により利益剰余金が506,531千円減少したことによるものであります。

## （3）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,819,503千円となり、前事業年度末に比べ388,575千円増加いたしました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は455,482千円（前年同期は103,290千円の使用）となりました。これは主に、税引前中間純損失483,329千円、売上債権の増加額83,197千円、未払金の増加額116,127千円によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は98,621千円（前年同期は48,058千円の使用）となりました。これは主に、自社倉庫の拡大に伴う敷金等の差入保証金の差入による支出94,680千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は942,679千円（前年同期は40,320千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入500,000千円、短期借入金の純増加額400,000千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,430,928	1,819,503
売掛金	781,849	865,046
商品	175,050	139,587
原材料及び貯蔵品	20,102	33,372
未収入金	175,859	185,368
前払費用	68,746	145,394
その他	18,835	31,790
流動資産合計	2,671,371	3,220,063
固定資産		
有形固定資産	122,252	191,559
無形固定資産	4,414	4,592
投資その他の資産	478,726	500,279
固定資産合計	605,392	696,431
資産合計	3,276,764	3,916,495
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	556,857	581,532
短期借入金	500,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	—	166,656
未払金	829,413	945,519
リース債務	1,349	1,367
未払費用	121,437	153,979
未払法人税等	16,694	15,770
預り金	50,589	65,512
ポイント引当金	13,519	13,743
契約負債	284,474	318,915
その他	29,170	—
流動負債合計	2,403,506	3,162,997
固定負債		
長期借入金	—	319,456
リース債務	6,905	6,217
資産除去債務	23,890	34,654
固定負債合計	30,795	360,328
負債合計	2,434,302	3,523,326
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,132,046	1,160,706
資本剰余金	2,070,122	2,098,735
利益剰余金	△2,332,522	△2,839,053
自己株式	△27,567	△27,567
株主資本合計	842,079	392,820
新株予約権	382	348
純資産合計	842,462	393,168
負債純資産合計	3,276,764	3,916,495

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	8,110,720	7,579,531
売上原価	4,015,686	3,538,307
売上総利益	4,095,034	4,041,224
販売費及び一般管理費	4,221,349	4,518,540
営業損失 (△)	△126,315	△477,316
営業外収益		
受取利息	12	216
受取補填金	1,825	1,736
為替差益	—	1,185
その他	749	1,704
営業外収益合計	2,587	4,843
営業外費用		
支払利息	2,101	10,130
支払保証料	428	420
その他	426	476
営業外費用合計	2,957	11,027
経常損失 (△)	△126,684	△483,500
特別利益		
固定資産売却益	—	171
特別利益合計	—	171
税引前中間純損失 (△)	△126,684	△483,329
法人税、住民税及び事業税	3,322	3,281
法人税等調整額	—	19,920
法人税等合計	3,322	23,201
中間純損失 (△)	△130,006	△506,531

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純損失(△)	△126,684	△483,329
減価償却費	14,506	29,057
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△521	224
受取利息	△12	△216
支払利息	2,101	10,130
固定資産売却益	—	△171
売上債権の増減額(△は増加)	△422,540	△83,197
棚卸資産の増減額(△は増加)	31,691	22,193
仕入債務の増減額(△は減少)	168,392	24,675
未払金の増減額(△は減少)	141,237	116,127
未払費用の増減額(△は減少)	△5,938	32,542
契約負債の増減額(△は減少)	77,052	34,441
その他	21,774	△143,793
小計	△98,941	△441,316
利息の受取額	12	216
利息の支払額	△2,122	△12,099
法人税等の支払額	△2,239	△2,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	△103,290	△455,482
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,100	△68,041
有形固定資産の売却による収入	—	171
無形固定資産の取得による支出	△478	△538
差入保証金の差入による支出	△32,983	△94,680
差入保証金の回収による収入	11,503	69,968
資産除去債務の履行による支出	—	△5,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,058	△98,621
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	400,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	—	△13,888
新株予約権の行使による株式の発行による収入	40,320	57,237
リース債務の返済による支出	—	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,320	942,679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△111,028	388,575
現金及び現金同等物の期首残高	2,296,608	1,430,928
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,185,579	1,819,503

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社は、完全栄養食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,579,438	93	7,579,531	—	7,579,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,579,438	93	7,579,531	—	7,579,531
セグメント損失 (△)	△419,491	△11	△419,502	△57,813	△477,316

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損失 (△) は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。